

1 本園の教育理念・教育方針

教育理念：【知性の源を育む】 知性：感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・諦めない心等

教育方針：① 宗教教育：神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく【感謝の心】

② モンテッソーリ教育：幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる

【自己肯定・考える力・諦めない心】

③ 平和教育：集団生活の出会いと関わりを通して神さまと周りの人を大切にする【共感力】

2 本年度 年間目標（テーマ）

「やってみたい！」を やっていきこう！！～有言実行～

3 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ・登園から降園するまでの園生活のすべてをモンテッソーリ活動の『お仕事』と捉え、様々な活動や遊びを個々の主体性・規律ある自由性に基づいたものとし教師は個の必要に応じ最小限の援助を行うようにする。
- ・保護者の安心感を得ることにより園との信頼関係が構築できる為、家庭との連携を丁寧に行い信頼を深め、常に子ども達の成長を願いながら相互の共通理解を深め協力して見守っていくようにする。
- ・引き続き未就園児クラスの子供達と園児の交流を深めスムーズに入園へと進めていく。また祈りを通して教師間の共通理解も深め、子供達と保護者が安心して入園を迎えることができるように準備していく。

4 評価項目の達成および取り組み状況

宗教教育	<ul style="list-style-type: none"> ・神様やマリア様の存在を様々な機会を捉えてわかりやすく伝えるように心がけ、子ども達が自ら神様やマリア様にお話ししたい(祈り)と思えるような環境や雰囲気作りを意識してきた。 ・園生活において子ども達がお互いの違いを受け入れ認め合い、祈り合う経験をしている。全教師間でも同様に、日々祈り合う積み重ねを通して支え合うことができた。 ・クリスマスお祝い会の体験を通し、神様の御業や聖書の出来事について知ることで、感謝の心命の大切さ、命あるすべてのものの存在の意味を実感できるようになった。
モンテッソーリ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育が最も大事にしている人間教育について理解を深めるため、園内外の研修を重ね、教師自身が教具に親しみ、楽しんで提供できるよう心がけた。 ・子ども達に合わせた関わりや言葉掛け(言葉の変換)を大切に意識するようになった。 ・『生活がお仕事』ということの本質を理解し具体的に実践できるように努力した。
平和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子ども達が、クラスや学年活動において自分の役割や居場所を見つけ、安心して過ごせるよう配慮し、自己肯定感や共感の気持ちを持てるよう見守った。 ・みんな違う考えや価値観を持っている存在であること・互いに認め合うことの大切さを子ども達が生活を通して理解できるように伝えていくように意識した。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の集い、保育参観や個人懇談等で保護者と話す機会を大事にし、幼稚園の理念や方針、保育の現状を伝える事により共通理解と情報共有に努めるようにした。 ・年間行事を通して、子ども達の成長を共に見守るとともに、保護者の喜びや心配事などを気軽に話せる雰囲気作りを心がけ、共有できるように努めた。 ・保護者からの相談等には、いつでも対応できることを知らせ、実践してきた。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に防災の大切さを知らせるとともに、定期的に防災訓練（火事・地震・津波）を実施することができた。 ・子どもの日々の健康状態を把握し、適切な対応・連絡・報告・経過打診を行った。 ・日常の遊具、用具等の点検や安全な環境設定を行うよう意識し実践してきた。

子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 園にかかわるすべての保護者の思いや意見等に寄り添いながら、必要な提案や助言等を心がけた。 未就園児クラスの内容充実に向けて、常に環境の見直しや人的配置等に努めてきた。
学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達について具体的な情報交換ができるように、幼小連絡会、療育面談等には積極的に参加した。 周辺地域の方々に対しては、登降園時、集会時等の車道の混雑や日々の通行においてご迷惑をおかけしているため、折に触れお詫びと感謝を伝えるように努めている。

5 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- 園の教育理念・教育目標、日々の保育の様子等を少人数ごとの保護者入園説明会やオープンスクールなどの機会に、園児達の姿を見ながら、一人ひとりに丁寧に伝えるよう心がけ、実施することができた。
- 日々の職員朝礼や終礼、会議、研修等の中で、教育理念や教育目標についての説明や確認の機会を重ねることにより、正規教職員と未就園児担当教員を含む非常勤教職員全体のコミュニケーション、共通理解、意思疎通が大変スムーズになった。

6 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 宗教教育、モンテッソーリ教育、平和教育の3本柱について、園に関わるすべての教員(正職・非常勤勤務含む)が理解し、保護者への説明、実践報告等を丁寧に行うとともに、具体的な実践や研修等を通して質の向上を目指す。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて子育て相談やカウンセリングの場を設け、保護者の思いやニーズを受け入れ、共に考えていく機会を増やしていく。 ホームページやインスタグラム、支援センター等のお知らせを利用し、未就園児の保護者対象に一般に広く呼びかけ、園見学や園庭開放、イベント等を実施していく。
卒園後の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 卒園後もホームページやおりがうニュース、インスタグラム等を通して、幼稚園の情報を知らせる機会を設ける。 卒園後もモンテッソーリ活動や行事に参加できる機会を提供できるよう検討する。

7 学校関係者の評価 保育内容評価について学校関係評価委員12名の意見を集約

- 幼稚園でいただいて帰った神様のお話の絵本や聖書のお話の絵本が大好きで、家庭でもよく読んでほしいとリクエストがあった。日常の園生活の中で先生方が神様のお話をしてくださるので、家庭生活の中でも子ども達から保護者に対して神様のことを話して聞かせてくれることが度々あり、とても良いことだと感じている。
- 幼稚園での宗教体験を通じて、自分のすぐ近くで起きたことではなくても災害で困っておられる方のために自然に祈りの言葉を口にすることが多く、心豊かに成長してることを感じる。
- クラスの年上の友達の真似をしたり年下の友達の手助けができたり異年齢での関わりを通して、豊かに成長していると思う。また、宗教的な体験で、感謝や思いやりの気持ちが育まれていると感じる。
- 保護者にとっても子ども達にとっても安心して通える幼稚園で、先生方への信頼がとても厚い。
- 子ども達も保護者も幼稚園が大好きで、毎日登園することをとても楽しみに過ごした。入園したばかりの時には動き回っていた子どもが、ちゃんと座って話を聞くことができる一それだけでも感動している。
- 日々のお祈りや先生方の優しい声掛けのおかげで、助け合う心や思いやりの心を持った子どもに育っていると感じている。個々を尊重した『お仕事』をはじめ、体操・茶道・性教育等の経験もとても良かった。

8 財務状況

- 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。